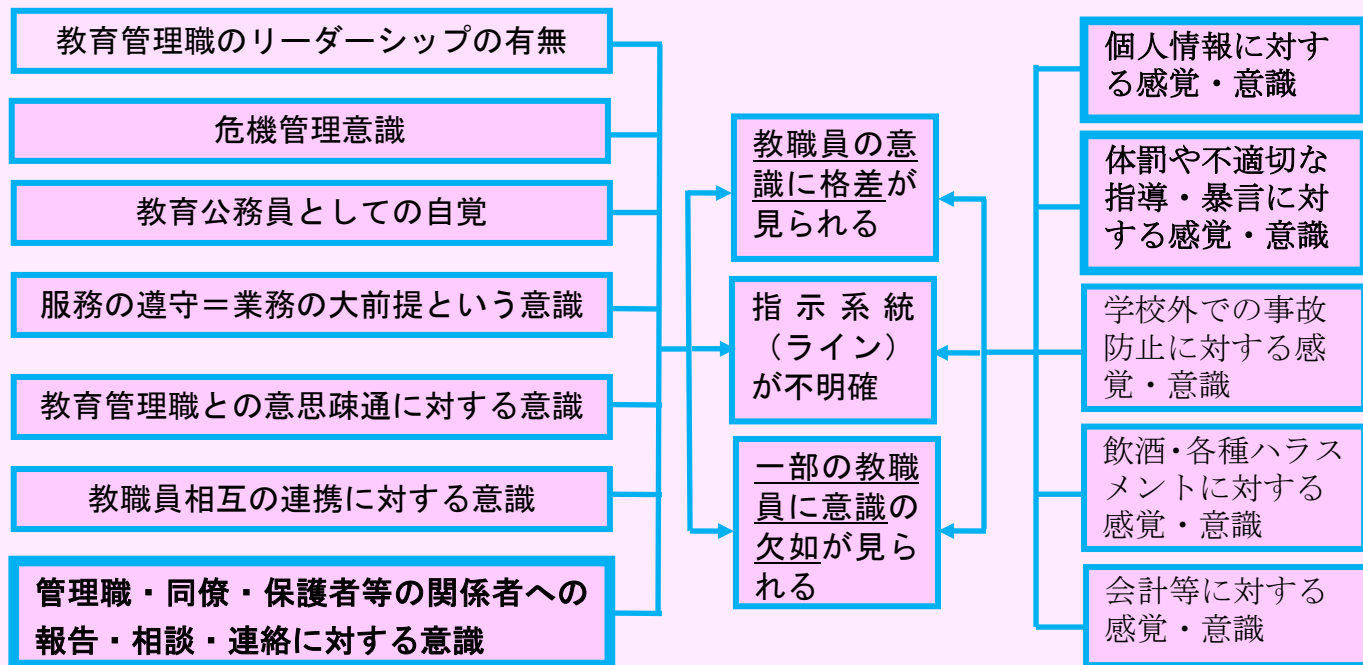


令和6年度 昭島市立玉川小学校におけるサービス事故防止（学校危機管理体制）計画

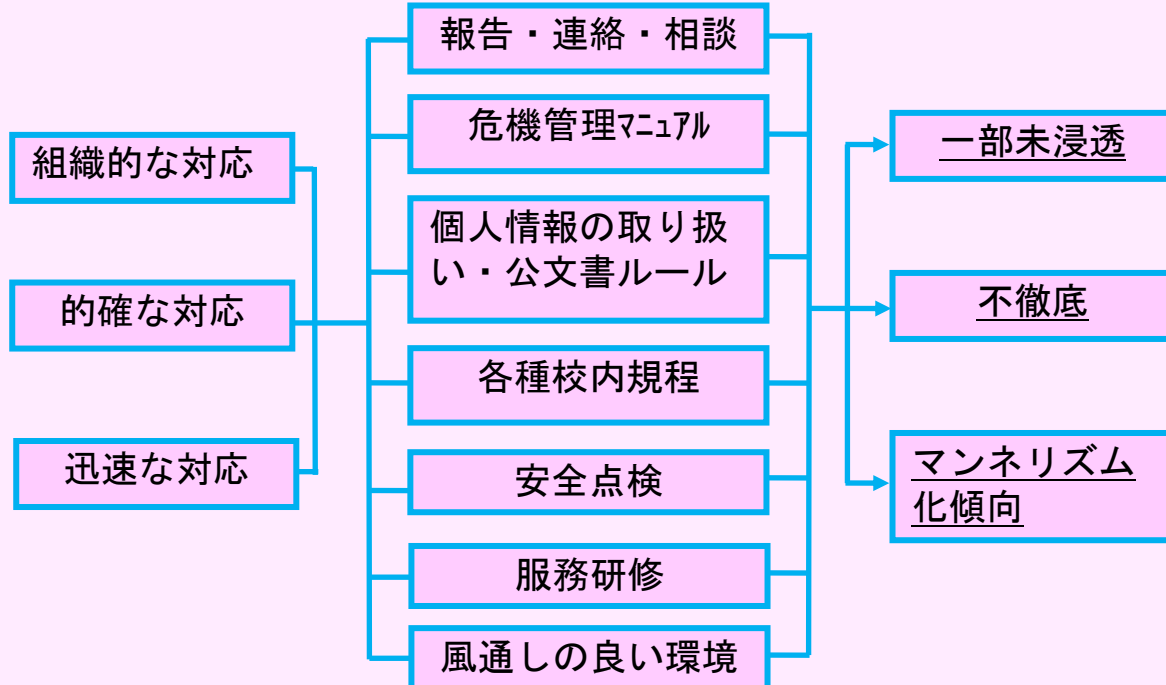
I 教職員の危機管理意識の課題

1 教職員一人一人の課題



- ・個人情報の誤廃棄・紛失
- ・SNS等を通じた私的なやり取り
- ・職員室の机上、採点途中に離席
- ・机上整理が徹底せず整理整頓ができていない状態で放置
- ・人権に十分な配慮が見られない発言等
- ・研修が正規教員の実施（臨時教員、市職を含んでいない）
- ・私費会計の不適切な保管・処理
- ・市販のテスト等のやり残し等

2 組織としての課題



チームとしての学校力・組織力の発揮、主体的・協働的な話し合いに基づく組織の一員としての自覚

II サービス事故防止のための具体策

- 1 年度当初、サービス事故防止月間研修：防止策の作成⇒実践⇒PDCA サイクル化（月ごとの重点サービス課題に対し、防止策を明確にする）
- 2 コンプライアンスリーダーの設置⇒管理職からだけでなく、ボトムアップという視点から整理整頓、「報告・連絡・相談」からサービス規律全般について日頃から提案していく。
- 3 サービス事故再発防止月間を、4月・7月・9月・12月・1月・2月に設定する。
- 4 人事考課制度のより一層の活用（教職員一人一人のサービス課題及び、その解決方法について記入させる。）
- 5 定期的な授業観察及び面接の内容を充実させ、教育課程の適正な管理はもとより、サービス規律の確保という観点からも積極的に指導・助言していく。
- 6 意図的・計画的な配置換え等により、サービス事故防止のマンネリズムを防ぎ、サービス事故防止徹底の意識を喚起する。

III サービス事故防止研修

4月	7月	9月	12月	1月	2月
サービス事故防止計画	体罰及び不適切な指導・暴言等関連	個人情報、SNS等を通じた私的なやり取り等関連	サービス事故防止月間	飲酒・各種ハラスメント関連	会計事故・個人情報の紛失・流出関連
校長	副校長	市川主幹	副校長	中川主幹	大河原主幹